

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		新見高等学校南校地	
実践者等		岡 利英	実践日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		授業(理科・物理基礎(1年), 物理(2・3年))	
対象生徒(学年等)		1～3年	
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用	
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化	
		☐ その他()	
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容			
黒板への板書の代わりに、iPad 用手書きノートアプリ「GoodNotes」への書き込みをスクリーンに投影し、授業を行っている。 ***** 授業を進めるうえで最も時間をとられるのが黒板への板書である。 その改善のため、以前は授業プリントを書画カメラで映し直接書き込む方法を用いたが、iPad および Apple Pencil が支給されたので「GoodNotes」を用いて同様の試みを行うことにした。 以下に手順をまとめると… ① 授業プリントを pdf 化する。 ② ①の pdf ファイルを iPad 用手書きノートアプリ「GoodNotes」に取り込む。 ③ AppleTV を通して、「GoodNotes」の画面をスクリーンに投影する。 ④ 端末上で書き込みながら授業を進める。 (⑤ 授業後、書き込んだページを再 pdf 化し Classroom にアップ 復習での活用) 種々の pdf 書き込みアプリから「GoodNotes」を選んだ理由として、以下の2つが挙げられる。 ✓ 手描きの歪んだ図形を適切に補正してくれる。 ✓ レーザーポインターが見やすく使いやすい。 ***** 【メリット】 ・ 時短に繋がった。 ・ (書画カメラと比べて) 拡大・縮小が思いのまま。 ・ (授業プリントを pdf 化するだけなので) 簡単に取り組み、負担も小さい。 【デメリット】 ・ バッテリーの消耗が激しい(例えば3校時連続で使用すると 100%→42%)。 ・ タッチペンが必要。 生徒にも「GoodNotes」を活用させることでペーパー(ノート・プリント)レスを実現したいと考えていたが、上記2つのデメリットから現時点では難しい。			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) (本時後) 授業後、書き込んだページを再 pdf 化し Classroom にアップ 復習での活用			